



修正



新型コロナウイルス感染防止対策緩和後の 対面集会再開に向けて 〔感染予防対策〕



2020.9.5作成

2021.1.9改訂

ボーイスカウト練馬第7団

団委員長:村越茂 安全管理団委員:佐々木裕子 BVS副長:佐藤まどか

〔用語説明〕

オンライン集会：参加者が自宅からオンライン会議ツールを利用し
実施する集会

対面集会：参加者が集まり実施する集会



そなえよつねに
ボーイスカウト



練馬第7団の方針

修正



2020年9月5日の団会議で対面集会を以下の条件で再開することに決定。

- ・ 2020年9月から対面集会を開始する。
- ・ 対面集会時には、団で定めた感染防止対策を徹底する。
- ・ 対面集会の開始時期と実施方法は、各隊に一任するがリーダーと保護者へ説明を行い理解してもらう。
- ・ リーダーやスカウトに参加を強要しない。スカウトが欠席時のフォローも行う。
- ・ 参加リーダーが不足するようであれば、育成会、団、他隊へ支援要請を行う。
- ・ 風評被害に該当する事象が発生時は、速やかに団へ報告を行う。

[その後の経過]

- ・ 2020年11月25日から3週間、東京都の不要・不急の外出自粛要請を受け対面集会を団としても自粛したが、12月20日より対面集会を再開。
理由：当団の感染予防対策はある程度十分と判断し徹底することで感染リスクは低い。
感染者数の劇的な低下が見込めない中、多くのスカウトや保護者、リーダーから対面集会実施の要望が強く出されている。
対面集会を実施しないと、スカウトや保護者の気持ちがスカウト活動から離れ当団の存続の危機に繋がる。

※当方針、及び感染予防対策は、ホーンスカウト練馬地区から2020年7月29日に発行されたガイドラインを遵守し、かつ団の有識者の意見を基に作成した。

今後の感染者の拡大の状況によってホーンスカウト練馬地区のガイドラインの見直しや団有識者の意見を基に順次見直しを行う。

その際は保護者へ改めて連絡を行う。





感染防止対策

修正



対面集会での感染防止対策として以下の徹底を図る。

- ・ 3密(密閉・密集・密接)を避け、換気の良い場所を実施する。
特に屋内での集会時は、「換気が良い」場所とする。
- ・ 出席者は全員マスク着用、検温を実施。(マスク着用時は熱中症に注意する)
- ・ 定期的に水分補給を行う。
- ・ 当面、対面集会ではおやつを取らない。
- ・ 体調不良者、または感染者と接触の可能性がある人は参加しない。
- ・ 各対面集会時には、隊で安全管理担当者を任命する。
安全管理担当者は集会進行の担当は行わず集会中の感染防止に注意を払い指導を行う。
- ・ 各種チェックリストを用い、感染防止とその記録を残す。
チェックリストの運用は次頁以降を参照。
- ・ 後述の「感染防止対策」や「Q/A」も参考に対面活動を行う。
また、効外への感染予防対策の指導も行う。
- ・ 感染防止の周知・徹底を図るため説明会、勉強会を開催する。
- ・ 今後もオンライン集会は活用する。
- ・ 宿泊を伴うキャンプ等の対面集会は当面行わない。





各種チェックリストの運用



- 各種チェックリストの運用は以下の通り。1カ月間保管する。
- 各種チェックリストは当初紙での運用を行うが、電子化を進める。

※チェックリストが家庭で印刷できない環境の方は、団委員長まで連絡ください。印刷したものを届けます。

| | ご家庭 | | 各隊 | | 団委員長 |
|-----------|------------------------|------------------------------|--|--|---|
| | 保護者 | スカウト(保護者) | 安全管理担当者 | 隊長 | |
| 計画書作成時 | | | | ①活動計画書作成時チェックリスト | チェック・保管 ①活動計画書作成時チェックリスト |
| 当日集会前(自宅) | | チェック ②活動前チェックリスト | | | |
| 集会中 | | チェック・保管 ④活動中チェックリスト(スカウト) | チェック ②活動前チェックリスト ③活動中チェックリスト(隊) 参加者名簿 | チェック ②活動前チェックリスト ③活動中チェックリスト(隊) 参加者名簿 | チェック・保管 ②活動前チェックリスト ③活動中チェックリスト(隊) 参加者名簿 |
| 集会後 | チェック・保管 ⑤活動後チェックリスト | | | | |
| 体調不良等発生時 | 連絡 | | | 連絡 | 連絡 |

感染者発覚時の個人氏名は該当隊長と団員長のみ



①活動計画書作成時チェックリスト



提出ルート：**各隊チェック** ⇒ **団**

黄色セル部分を修正

- ・ 対面集会の計画書作成時に以下の事項に対策が取られているか隊長が確認。
- ・ 集会前に実施計画書と合わせて、団委員長と佐々木団員、佐藤BVS副長へ提出する。

保管期限： 年 月 日(集会日から1カ月間)

| 各隊・団の確認事項 | | 隊長確認 | 団委員長確認 |
|-----------|--|------|--------|
| 1 | 【安全管理者の設定】 対面集会時の安全管理者が事前に決定している、以下の記載 当日安全管理者： x x x x x 副長 | | |
| 2 | 【集会場所の確認】 活動場所は参加者が1 m以上の間隔をとれる場所である 室内の場合、換気が良い場所である | | |
| 3 | 【集会場所の確認】 手洗い(石けん使用)できる設備があること 小手指野営場などでも、ポリタンクなどで同環境があれば良い | | |
| 4 | 【集会場所の確認】 体調不良者が出たときの休憩&隔離が可能な場所(予備の部屋、少し離れた場所での休憩スペースなど)、対応者(安全管理者以外)を決めておく。 | | |
| 5 | 【活動計画】 屋内で歌を歌うことは控える。 ハーモニカなどの直接口を接触させて演奏する楽器やホイッスルの使い回し(貸し借り)は止める。 | | |
| 6 | 【備品準備】 石けん、アルコール消毒液、ペーパータオル、ゴミ袋(使用済ペーパータオルを入れる)が準備されている。 | | |
| 7 | 【記録】 事前に、スカウト、指導者、保護者、同伴者等、すべての出席者の名前を把握する。 | | |
| 8 | 【記録】 当日出席者全員に、「活動前チェックリスト」の周知がされている。 | | |

※各隊で必要に応じて変更可



②活動前チェックリスト

黄色セル部分をかがのチェック
リストを参考に修正



提出ルート：全参加者(スカウト、保護者、リーダー等)チェック→安全管理担当者→隊長→団

- ・スカウト(または保護者)、リーダー、及びその他出席者は活動出発前に以下の事項に問題がないことを確認する。
- ・確認した結果は、当日の安全管理者へ提出する。
- ・当チェックシート、及び着用マスク・予備マスクを持参しない人は、対面集会の参加はできない。

| | | | | | |
|---------------------------|---|-------------------------------------|-----------------------------|----------|------------------|
| 氏名： | | 確認日時： | 年 月 日() 時 分 | 保管期限： | 年 月 日(集会日から1カ月間) |
| 全参加者(スカウト、保護者、リーダー等)の確認事項 | | 参加者 (スカウト・リーダー) ※当日 自宅で記入! | 安全管理 担当者 ※集会の 開始時に | 隊長 確認 | 団委員 長 確認 |
| 1 | 通常時の朝の体温… | 度 | 度 (集合時) | | |
| | 当日朝の検温結果… ※発熱の基準：37.5℃以上、又は平熱より1℃以上高い | 度 | | | |
| 2 | かぜの症状(発熱、のどの痛み、くしゃみ、筋肉痛、けんたい感<だるさ>など)がない。 ※持病以外で、これらの症状がないこと | ある・ない | | | |
| 3 | 過去、2週間に発熱の症状がない。 | ある・ない | | | |
| 4 | 過去2週間で、家族や学校関係者、塾などで濃厚接触者がいない。 | いる・いない | | | |
| 5 | マスクを着けている。 予備マスクを集会の持ち物に入れている。 | はい・いいえ | | | |
| 6 | 体温計を集会の持ち物に入れている。 | はい・いいえ | | | |
| 7 | 集会へ出発する前に、水を飲んだ。 | はい・いいえ | | | |
| 8 | アルコール消毒のアレルギーがある場合はリーダーへ申告すること。 | (事前に、保護者より申告) | | | |
| 9 | 上記以外で気になる点がある場合、この欄に記入してください。 | | | | |

※各隊で必要に応じて変更可





③活動中チェックリスト(隊)

黄色セル部分を修正



提出ルート:安全管理担当者チェック→隊長→団 ※当日の参加者名簿も合わせて提出

・安全管理担当者は集会進行の担当は行わず、以下の事項を活動中に注意を払い指導を行う。

| | | | | |
|------|---|---------|------------------|--------|
| 活動内容 | 【練馬7団】BVS隊・CS隊・BS隊・VS隊・RS隊 | | | |
| | 日時: 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分 | | | |
| | 場所: | | | |
| | ※移動を伴う活動の場合、大凡の滞在場所と時間帯も記入 | | | |
| | 内容: | | | |
| | その他: | | | |
| | 安全管理担当者: | | | |
| | | 保管期限: | 年 月 日(集会日から1カ月間) | |
| | 各隊の確認事項 | 安全管理担当者 | 隊長確認 | 団委員長確認 |
| 1 | 参加者全員の「活動前チェックリスト」に問題がないこと | | | |
| 2 | 参加者全員が活動前に手洗い、うがいを実施したこと ※石けんを使い、10秒もみ洗い+15秒すすぎを2回繰り返す 手が洗えない場合は、アルコール消毒液で手を拭くようにする | | | |
| 3 | 人と人との距離を開けるように留意し、指導がされていること。 スカウトには相手との距離を片手〜両手分開けるように伝える。 *ゲーム感覚で距離を保てる工夫ができると良い。 | | | |
| 4 | 集会中、「3密(密閉、密集、密接)」を避ける活動が取られていること | | | |
| 5 | 集会中に参加者同士の接触が発生した場合は、アルコールで消毒が行われていること | | | |
| 6 | 全員がマスクを着用していること。 ただし、激しい運動をするときは外すように指示する。 また、気温の高いときは定期的にマスクを外すなど、新鮮な空気を吸うようにし、呼吸困難や熱中症にならないように留意する。 | | | |
| 7 | 定期的に水分補給が行われていること。 ※集会中のうがいは、飛沫感染の危険があるため避ける。 | | | |
| 8 | 使用備品は、こまめにアルコール消毒されていること。 | | | |
| 9 | トイレ等の施設を利用時は、使用前にアルコール消毒が行われていること。 (ドアノブ、便座、トイレトーパーフォルダ、等) トイレ使用後は必ず手洗いをさせている | | | |
| 10 | 水分補給中や食事中などのマスクを外す場合は、1m以上の間隔を空け、会話がされていないこと。 | | | |
| 11 | 食事をする際は、一方向を向き1m以上の間隔を空け、会話がされていないこと | | | |
| 12 | 公共交通機関利用時は、下車後(乗換時)もしくは改札口を出た後には手の消毒の徹底がされていること | | | |
| 13 | 屋内で歌を歌うことは避ける。 ハーモニカなどの直接口を接触させて演奏する楽器やホイッスルの使い回し(貸し借り)は止める。 | | | |
| 14 | 解散前に体調の変化の有無を確認し、手洗いとうがいをし解散している。 | | | |
| 15 | 参加するリーダー全員が、集会参加者の様子を観察し、体調の変化や行動の変化に目が配られている。不調者が出た場合は、早急に帰宅させるよう手配した。 | | | |
| 16 | 集会中に大声を発してスカウトへの注意を行っていないこと。 | | | |
| 17 | 当日の参加者全員が把握できていること | | | |

※各隊で必要に応じて変更可





④活動中チェックリスト(スカウト)



スカウトがチェックし自己管理

- ・スカウトは、集会中の感染防止対策として以下の事項を注意して参加してください。
- ・集会前によく読んで、集会後に守れたところに「○」を記入してください。

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|-------|--|---|---|------|---|---|-------|---|---|--------------|
| 氏名： | | 確認日時： | | 年 | 月 | 日() | 時 | 分 | 保管期限： | 年 | 月 | 日(集会日から1カ月間) |
| スカウトまたは保護者の取り組み | | | | | | | | | | | | スカウト |
| 1 | 活動場所についたら、手洗い、消毒を最初に行う。 | | | | | | | | | | | |
| 2 | リーダーに、「参加者チェックリスト」を提出する。 | | | | | | | | | | | |
| 3 | 集会前に検温し結果と当日の体調をリーダーへ報告すること。 | | | | | | | | | | | |
| 4 | 必ずマスクを着用する。ただし、激しい運動をするときは外す。また、気温の高いときは定期的にマスクを外すなど、新鮮な空気を吸うようにし、体の調子を崩さないようにする。 | | | | | | | | | | | |
| 5 | 活動中も、人の「手」が触れるところを触ったら、手をよく洗う。 | | | | | | | | | | | |
| 6 | 人と人との距離を開けるようにする。※相手との距離を片手～両手分開ける。 | | | | | | | | | | | |
| 7 | のどが渇く前に、こまめに水分補給をする。一度にたくさん飲まずに、少しずつの水分補給をこまめに行う。 | | | | | | | | | | | |
| 8 | 自分たちで使用した備品は、感謝の気持ち、後に使う人たちへの配慮の気持ちをもって積極的に消毒（衛生管理）する。 | | | | | | | | | | | |
| 9 | 調理を伴う活動は、食材、調理器具の衛生管理だけでなく、常に手指の清潔を保つ。 | | | | | | | | | | | |
| 10 | 活動中、食事中など、必要以上に大きな声で会話するなどしない。できるだけ横並びで食事、会話をする。 | | | | | | | | | | | |
| 11 | 友達の楽器（ハーモニカやリコーダーなど）やホイッスルを借りて使わない。 | | | | | | | | | | | |
| 12 | 調子が悪くなった場合は、速やかにリーダーに報告する。 | | | | | | | | | | | |

※各隊で必要に応じて変更可





⑤活動後チェックリスト



スカウトまたは保護者がチェックし自己管理

氏名： 参加集会日： 年 月 日 保管期限： 年 月 日 (集会日から1カ月間)

| スカウト、保護者の確認事項 | | スカウト 保護者 |
|---------------|--|-------------|
| 1 | 帰宅したら、手洗い、消毒、うがいを最初に行う。 | |
| 2 | 十分な休息を取る。 | |
| 3 | 休息を取った後、検温する。 検温結果： ℃ 検温日時： 年 月 日 時 分 | |
| 4 | 集会後の2週間、体調に問題ないこと。 万一体調不良が生じた場合は、医療機関で診断を受け、その結果を隊長に連絡する。 | |
| 5 | | |

| 各隊、団の対応 | |
|---------|--|
| 1 | 体調の変化等に関する連絡をいつでも受けることができるようにしています。 |
| 2 | 保護者から「体調不良」「感染」などの連絡が来た場合には、その状況を当該隊長、団委員長、団関係者が共有し必要な対応を行います。 「体調不良」や「感染」した方の氏名は当該隊長、団委員長のみしか共有いたしません。 |
| 3 | 万一感染者が出た場合には、活動計画書、報告書をもとに、できるだけ詳細な情報を入手し、練馬地区へ報告とその後の連携を図ります。 感染者の個人氏名は報告いたしません。 *練馬地区は、報告を受けた後、ルールに則り東京連盟に報告します。 |

※各隊で必要に応じて変更可



感染防止対策で準備するもの



フェイスシールド 追記

◇団で準備し各隊へ支給

- ・ペーパータオル
- ・アルコール(70%以上)消毒液+スプレー
- ・使い捨て手袋(トイレ、ドアノブ等の消毒時に着用)
- ・フェイスシールド(リーダー、スカウト(BVS除く)分)

◇各隊

- ・安全管理担当者の任命(各集会毎)
- ・集会当日のゴミ袋(使用済ペーパータオルを入れて飛散防止する)

◇スカウト=保護者

- ・対面集会時参加時は以下を事前準備
「活動前チェックリスト」
- ・体温計、着用マスク、予備マスク：活動に持参





団内の対応体制



◇団全体

取り纏め：村越団委員長

補佐：佐々木安全管理団委員、佐藤BVS副長

◇各隊

取り纏め：各隊隊長

補佐：各隊安全管理担当(各対面集会毎に任命可)

※安全管理担当は集会進行の担当は行わず、対面活動中に感染防止の指導に注力する。

- ・感染者発覚の際は、以下の連絡ルートとする。
保護者→各隊長→団委員長→団関係者
※感染者氏名等は個人情報に留意し当該隊長と団委員長のみに留める。
- ・地区報告は団委員長が行うが、感染者氏名は報告しない。
- ・マスコミ等の対外的な窓口も団委員長が行い、団関係者と協力し対処する。



新型コロナウイルス感染予防について

修正



日頃よりスカウト活動にご支援いただきありがとうございます。

スカウト、リーダー、各ご家庭が安心して充実したスカウト活動が行える様、
新型コロナウイルス感染防止対策の知識をまとめました。

目的：新型コロナウイルス感染防止の知識習得
対面集会時のリーダーの感染予防対策
スカウトへの指導事項→スカウトへの教育





新型コロナウイルス基礎知識



新型コロナウイルスとは

- 人に感染する「コロナウイルス」として新たに見つかった「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）」による感染症
- この感染症を「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」と言う

コロナウイルスの構造

- ウイルスはその構造からエンベロープ（脂質性の膜）のあるウイルス（エンベロープウイルス）と、エンベロープのないウイルス（ノンエンベロープウイルス）に分けられる。
- エンベロープウイルスは、アルコール消毒剤によりダメージを受けやすい。
- インフルエンザウイルス、コロナウイルス、ヘルペスウイルス、風疹ウイルス、エイズウイルスなど。





新型コロナ基礎知識



主な感染経路

飛沫感染

感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染。

※主な感染場所：劇場、満員電車などの人が多く集まる場所、飲食や接待を伴う密閉空間

接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付着。別の人がある物を触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触って粘膜から感染する。

※主な感染場所：電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチなど

特殊な状況ではエアロゾル感染（≒③空気感染）があると考えられている





新型コロナウイルス基礎知識



SARAYA公式ホームページより

<https://family.saraya.com/kansen/coronavirus/index.html>





新型コロナウイルス基礎知識



● 潜伏期間

- 世界保健機関（WHO）のQ&Aによれば、現時点の潜伏期間は1～12.5日（多くは5～6日）とされており、また、他のコロナウイルスの情報などから、感染者は14日間の健康状態の観察が推奨されている。
- 感染した場合、症状の出る2日前くらいから感染力があるといわれている。→症状がなくてもマスクが必要

● 感染症対策

こまめに石けんと流水の手洗いまたはアルコール手指消毒剤を用いた手指消毒を行い、手を清潔に保つ。石けんと流水の日常的な手洗いだけでは落としきれずに残ったウイルスや細菌を除去するために、さらにアルコール手指消毒を行うことも有効。
しっかり手洗い・消毒し、感染をストップさせましょう！





感染防止対策



1. 接触を避ける

2m離れる(最低1m) = 飛沫感染の防止

咳をすると、唾液と一緒にウイルスは2m飛ぶ。
(1回の咳で約10万個)

くしゃみでは、唾液と一緒に3m飛ぶ。
(1回のくしゃみで約200万個！)

普通の会話でも1mくらい飛ぶ。

ウイルス単独で飛び出すわけではなく、周りに水がかっついているので、重さがあるのですぐに落ちる。





感染防止対策



2. 正しい手指洗淨

「10秒もみ洗い、15秒すすぎ」を2回繰り返すと、ウィルスの数は、ほぼ0になるとの調査結果あり！

正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

出典) 首相官邸ホームページ<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>





感染防止対策



手洗いのすすめ

水と石鹸（ハンドソープ）で、ウイルスは減らせます

※手洗いの効果（イメージ図）



(参考文献) 森功次他：感染症学雑誌，80：496-500（2006）





感染防止対策



3. 環境の消毒

トイレの清掃・除菌すべき箇所



人の手がよく触れる箇所



- 床や壁もしっかりと。
- 手洗いシンクのカーンも忘れずに。

SARAYA公式ホームページより

<https://family.saraya.com/kansen/coronavirus/index.html>





感染防止対策

修正



- 公衆・コンビニ等のトイレ利用時：
不特定多数が利用するトイレ内では、個室の中でも手指で直接目鼻口を触らない様に注意してください。
トイレを出た後にも十分手指衛生を行う様にしてください。
(入り口の取手を触るため)
- 糞尿から出たコロナ菌は死菌なので、感染力はないと言われています。





感染防止対策



ウイルスは、感染した生きて細胞の中でしか増えない。でも、付着した場所で結構長生き。

アルコール濃度70%以上のものが新型コロナウイルスを1分以内に不活化できると報告されている。

加熱も新型コロナウイルスの不活化に効果的 (56°C+30分以上)

| | 新型コロナウイルスの環境中における生存期間 (湿度40%の環境下) |
|-------------|--------------------------------------|
| 紙、ティッシュペーパー | 3時間 |
| 銅 | 4時間 |
| 段ボール | 24時間 |
| 木 | 48時間 |
| 布 | 48時間 |
| ステンレス | 48～72時間 |
| プラスチック | 72時間 |
| ガラス | 96時間 |
| おさつ | 96時間 |





感染防止対策



4. 咳エチケット

咳やくしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。

マスクを持っていない場合、咳やくしゃみをする際は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。

鼻汁や痰の付いたティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。



1

マスク上部の金具を
鼻と頬の形に
フィットさせる



2

鼻に合わせて
キュッと!

マスクを下に引き、
蛇腹部を広げて
あごまで覆う

SARAYA公式ホームページより

<https://family.saraya.com/kansen/coronavirus/index.html>





感染防止対策



5. 換気

空気が入れ替わらないところでは、エアロゾルはいつまでも同じところを浮遊する。

(エアロゾルでは3時間経過してもウイルスは1/6しか減少しない。)

エアコンは、部屋の外と中の空気を入れ替えずに、部屋の中の空気を循環させているだけ。

窓開け、換気扇の使用が必須。

広い室内(体育館等)でも換気がされていなければ、空気中にウイルスが留まります。





感染防止対策

修正



室内での対面活動時は以下を参考に「換気が良い」を条件を保ってください。
(厚生労働省のHPより)

専門家検討会の見解（抄）

クラスター（集団）感染発生リスクの高い状況の回避

- ① **換気を励行する**：換気の悪い密閉空間にしないよう、換気設備の適切な運転・点検を実施する。定期的に外気を取り入れる換気を実施する。
- ② **人の密度を下げる**：人を密集させない環境を整備。会場に入る定員をいつもより少なく定め、入退場に時間差を設けるなど動線を工夫する。
- ③ **近距離での会話や発声、高唱を避ける**：大きな発声をさせない環境づくり（声援などは控える）。共有物の適正な管理又は消毒の徹底等。

窓の開放による方法

- 換気回数※を毎時2回以上（30分に一回以上、数分間程度、窓を全開する。）とすること。
※ 換気回数とは、部屋の空気がすべて外気と入れ替わる回数をいう。
- 空気の流れを作るため、複数の窓がある場合、二方向の壁の窓を開放すること。窓が一つしかない場合は、ドアを開けること。





Q / A



マスク着用は効果があるの？

ウイルス : 0.1 μ m

※ μ m : マイクロメートル(1000分の1mm)

エアロゾル : 0.3~5 μ m

飛沫 : 5 μ m

花粉症マスク : 約 30 μ m以上の粒子をブロック

風邪・ウイルス対策用マスク (ニサージカルマスク) : 約 3~5 μ mの粒子をブロック

ガーゼ・布マスク : 500 μ mくらい? (種類が多すぎてわかりませんでした)

飛沫感染に気をつければいい新型コロナウイルスは、風邪・ウイルス対策用マスクならば予防効果があります。

ちなみに、

- ・不織布マスクとは...繊維同士を色々な方法で結合させてシート状にしたもの。緻密なものから隙間の多いものまでさまざま。
- ・マスクの性能を表す指標として「BFE」や「VFE」がある。粒子径約3 μ mもしくは1.7 μ mの物質が除去された割合 (%) で表す。つまり数値が大きいほど、性能がいいマスク。
- ・マスクはカーゼ、布、不織布どれも何層が重なっているので、単純に繊維の穴の大きさ以上にウイルスを捕捉できる。





Q / A



濃厚接触者？

コロナ確定患者と、コロナ感染症を疑う症状を発症した2日前から隔離開始までの期間に接触した人の中で、

- ・ 患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等）があった者
- ・ 適切な感染防護無しに患者（確定例）を診察、看護もしくは介護していた者
- ・ 患者（確定例）の気道分泌物もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・ その他：手で触れることのできる距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策無し（マスク着用なし）で、患者（確定例）と15分以上の接触があった者

これ以外ならば、感染のリスクは低くなる、と考えていいようだ。
ただし、感染しないわけではない。なぜなら、接触感染という経路があるから。





Q / A



感染リスクの割合？

- ①飛沫（ひまつ）感染 : かぜをひいた人と15分間、歌ったり話したりする。
8%
- ②接触感染 : かぜをひいた人が触ったコップに触る。
50%
- ③空気感染 : かぜをひいた人と金網で仕切られた部屋で2～3m離れて3日間
過ごす。
0%





Q / A

修正



公共交通機関を利用時の感染予防対策は？

公共交通機関では、不特定多数の人との接触や物に触れます。
以下の点を守れば感染リスクは低くなります。

- ・公共交通機関を利用中はマスクは外さない。
- ・乗車中は必要な場合以外は、物に触れない。
- ・混雑の時間帯、混雑している車両は避ける。
- ・ホームや駅構内でも人混みは避ける。
(混んでいる場合は少し待ち空いてから行動)
- ・エスカレータは避け、なるべく階段を利用。
- ・スカウト同士も2班等に分け、別の車両に乗る。
- ・下車後(乗換時)、もしくは改札口を出た後には手の消毒の徹底。





Q / A

修正



物の受渡や同じ物を触った場合の感染予防策は？

集会前にアルコール消毒していますが、その後集会中に触ったものを通じて手などにウィルスが付着している可能性があります。
以下の対策が徹底されていれば、感染リスクは低くなります。

- ・ 集会前後に手洗い、もしくは手の消毒の徹底。
- ・ マスク着用の徹底。手で鼻や口を触ることの防止にもマスクはなります。
- ・ 指先にコロナ菌が付着しても、目、鼻、口を触らなければ感染しない。
傷口などからの感染は現時点で報告なし。
- ・ 団関係者以外の人からの物の受渡時は、受渡後に手の消毒の実施。

(ご参考)

- ・ 紙幣、硬貨はウィルス付着の可能性があります。
紙幣、硬貨をさわった後は手指衛生を行いましょう。





Q / A

修正



食事の際の感染予防策は？

食事中はマスクを外すため、感染リスクが高くなります。

以下の点に守って感染リスクを低くしてください。

- ・ 食事前に手の消毒。
- ・ 食事をする場合は1 m以上の間隔を取り一方向を向いて食べる。
- ・ 食事中の会話は行わない。
会話をする場合は、マスク着用もしくはハンカチで口を覆う。
とにかく飛沫の防止！
- ・ 直接手で触る食事は禁止。
おにぎり等も包んであるラップやアルミホイルをもって食べる。
- ・ 調理をする際は、食材は火を通せば菌は死滅します。
火を通す食材のみとして、生もの(生野菜やフルーツ等)は避ける。

※おやつは当面禁止





スカウトへの指導



日々の感染予防

1. 感染源を絶つこと
2. 感染経路を絶つこと
3. 抵抗力を高めること
4. 感染者への差別的な行動を避ける





スカウトへの指導



1. 感染源を絶つ

自分が感染源にならない（ウィルスを持ち込まない）



- ✓ 毎朝健康チェックを行うことを習慣化する
- ✓ 体調が悪い時(発熱等の風邪症状)などは無理に学校などに行かない
- ✓ 体調が回復するまでは外出せず自宅で過ごす
- ✓ 自分が感染していて人にうつすかもしれないという意識を持つ
- ✓ 外出時、人と接する時はマスクをつける





スカウトへの指導

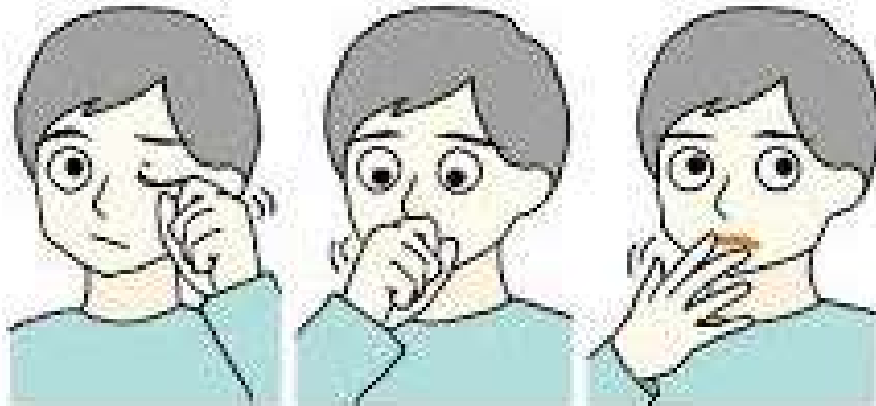


感染ルートは粘膜にある

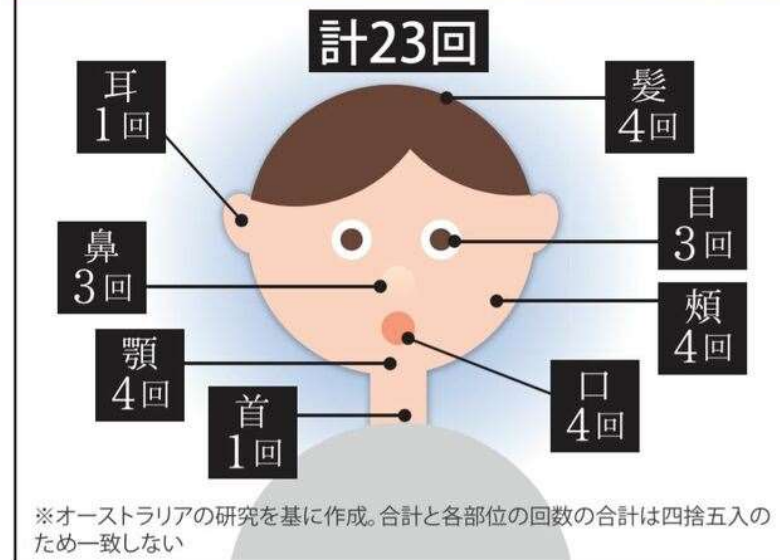
ウィルスのついた手で
さわっていると
したら・・・

感染リスクを高める動作の例

- 目をこする
- 鼻をこする
- 口に触る



学生が1時間に自分の顔に触った平均回数





スカウトへの指導



2. 感染経路を絶つ ~~飛沫感染~~ ~~接触感染~~

- ✔ 手洗い・・・ハッピーバーズデーの歌を2回歌うくらい
いていねいにしっかり洗い残しなく

外から教室に入るとき

咳やくしゃみ、鼻を
かんだとき

給食（昼
食）の前後



掃除の後

トイレの後

共有のものを
触ったとき

- ...最も不十分になりやすい箇所
- ...不十分になりやすい箇所



スカウトへの指導



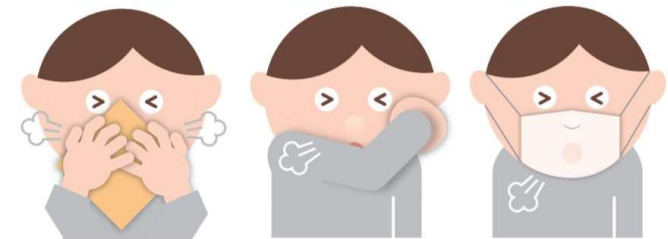
2. 感染経路を絶つ ~~飛沫感染~~ ~~接触感染~~

- ✓ マスク・咳エチケット
マスクは家の外では**食事の時以外いつもつける**
清潔なもの・サイズの合ったもの

職場や学校など人が集まる所でやろう。



- ✓ 食事のときはおしゃべりしない、向き合って座らない
- ✓ 人（友達や家族）との距離は2m（最低1m）はあける





スカウトへの指導



3. 抵抗力をつける

- ✓ **睡眠**
夜更かししない、スマホ・ゲームはほどほどに
朝早く起きて太陽の光をあびるのがよい睡眠の秘訣
- ✓ **食事**
三食きちんと食べる
納豆・ヨーグルト・味噌・キムチなどの発酵食品で免疫力アップ
- ✓ **運動**
家の中でもできる運動を
- ✓ **リラックス**
家族や友達とゆったり過ごす
好きなことをして過ごす





スカウトへの指導



4. 感染者への差別的な行動を避ける

- ✔ コロナ感染者や周囲の人への誹謗（ひぼう）中傷等の差別的な行動はやめましょう
- ✔ 感染者のことを他の人へ言い広めることもやめましょう！
- ✔ 相手の気持ちを良く考えてください。





団は1つの家族



発団55周年記念キャンプ
2019.8.10~12 山中湖

